

2011年(平成23)1月

カルメル
靈性センターニュース



2011年1月

261号

DE IMITATIONE CHRISTI

キリストにならう

——バルバロ訳——



第一卷

第十九章 よい修道者の修行

6 祝日から祝日まで

一年の主な祝日の頃には、ある修行を新たにし、聖人の取り次ぎをさらに熱心に乞い願わなければならない。

祝日から祝日までの間には、よい決心をし、この世を去って永遠の宴に行くかのようにしなさい。そのために、特別な修行の季節には靈的な準備を果たし、いっそう敬虔に生活するようにならなければならない。また、私たちの労苦の報いを神から受ける前日のように、会憲をさらに厳しく守らなければならない。もしその報いが延ばされるなら、私たちはまだ十分準備ができず、定めの際に「私たちにあらわされる」(ローマ8・18)その光栄にふさわしくない者であると考え、与えられた期間を利用して、よりよく死の日に備えなければならない。

福音史家ルカは言っている、「主人が来た時、目覚めているのを見られるしもべは幸いである。まことに私は言う。主人は、すべての持ち物を、彼につかさどらせるであろう」(ルカ12・37、43-44 参照)。

心の泉



Mutillio

日主の公



Adoration of the Wise Men
Murillo

1月 2日 主の公現



いのちの聖母

マリアよ あなたにお願いします

いのちの母であるばかりでなく
あわれみの母でいてください

惨めさの上に注がれる「いのち」の母
その惨めさをいやし いのちを与え
復活させる「いのち」の母でいてください

—幼きイエスのマリー・エウジェンヌ神父 ocd—

神の母に捧げられた祝日ではじまる新しい年がめぐってきました。このページを読んでくださる方一人ひとりにとってこの新しい年が神の母マリアのご保護のもとによい年でありますように。

さまざまな出来事がもたらす小さな、あるいは大きな喜びとともに、想いもしなかった困難、ふかい悲しみ、一抹の不安などを生きていかねばならないかもしれません。神のみ摂理がおかれた状況の中でマリアに神の母としてのご保護を願いましょう。

マリアよ、あなたにお願いします。

愛といのちの母であるばかりでなく、あわれみの母でいてください。

惨めさの上に注がれる「いのち」の母

その惨めさをいやし いのちを与え

復活させる「いのち」の母でいてください。*

マリアよ、あなたのそばに「熱心に祈りのうちに」使徒1・14 わたしはとどまります。マリー・エウジェンヌ神父に導かれて。

わたしの恵み からし種をあなたに預けます。

小さく 弱いこの種を 成長させてください。

あなたは わたしの母

わたしのこの祈りを聞いてくださると確信しています。

伊従 信子

ノートルダム・ド・ヴィ

* 『神と親しく生きる いのりの道』 聖母の騎士社

エデンの園 (3)

九里 彰

人間は「長い時間をかけて ハッピーになることを 考えて来たのに」と、詩人は言う。実際、文化文明は人間がハッピーになることを目指してきたからこそ、進歩してきたのだろう。

農業や漁業、商業や工業の発達、科学技術の進歩も、どれをとっても、みな人類が苦しく貧しい状態から、前よりも一歩でも楽で豊かな生活をしたいたいの思いから推し進められてきたとも考えられる。自動車や鉄道やジェット機などの交通手段の進歩にしても、インターネットや携帯電話などの通信機器の進歩にしても、「幸せになろうとする人間の根源的欲求」が根底にあると考えられる。さらに、人間の闇の部分である憎しみやねたみ、けんかや殺し合い、紛争や戦争も、みな自分の幸せや自国の幸せを求める心から生じていると言えなくはない。

このように考えてくるならば、大量生産、大量消費の現代に住む私たちは、洞穴に住み、草の根や木の実を採集し、魚や獣を取って生きていた石器時代の人々からすれば、あり余るほどの食べ物や衣服を持ち、快適で夢のような、とてつもなくハッピーな生活を営んでいることになる。

しかし、人類は本当に幸せになったのであろうか。

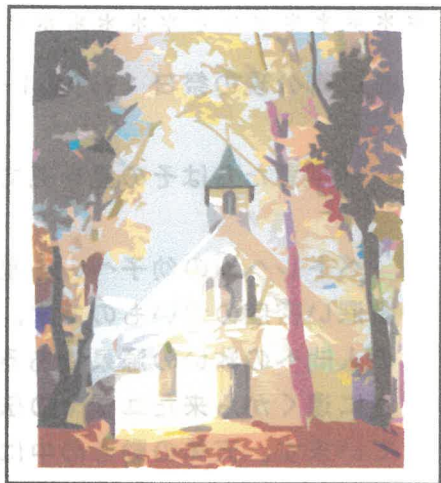
二千年前、キリストは「貧しい人々は幸いである。神の国はあなたがたのものである」(ルカ 6:20)と言われた。この言葉は、キリストの周りに集う、貧しさに苦しむ人々を慰める言葉として言われたと理解されやすいが、文字通り、そうなのではないだろうか。

救い主の誕生の知らせは、まず貧しい羊飼いたちに伝えられたことを思い出すべきであろう。律法を守れず、神の救いの手からもれていると思われていた人々に、まっさきに喜ばしい知らせが伝えられたのである。こうして、物質的な貧しさは、まことの幸いの障害とならないというだけでなく、だからこそ幸いなのだというきわめてパラドキシカルなメッセージとなる。

それゆえ、キリストの言葉は、物質的な幸せを倦まずたゆまず追い求めてきた人類の自然的な動きに対しても、真っ向から対立することになる。

キリストは、宮殿の豪華な部屋にある、きれいなふかふかしたベッドの上ではなく、糞尿の匂いのする家畜小屋の「飼い葉桶」の中に寝かされる。天使は、「これがあなたがたへのしるしである」(ルカ 2:12)と言った。

ヘンリ・ナーウエンの 旅路の糧 (139)



しみのないと同時にしみのある教会

教会は聖なるものであると同時に罪深いものであり、しみのないものであると同時にしみのあるものです。教会は、キリストによって清めの水で洗われ、「しみやしわやそのたぐいのものは何一つない、聖なる、汚れのないもの」(エフェ 5:26-27)とされ、キリストのもとへ迎え入れられた花嫁なのです。が、また教会は、肉欲や食欲によって絶えず誘惑され、対立や競争の中に常に巻き込まれている、罪深く、混乱と苦しみの中にいる人々の集まりなのです。

私たちが教会は一つの体であると言う時、洗礼と聖体によってキリストに似たものとされている聖なる汚れのない体だけではなく、その肢体であるすべての人々の傷ついた体とも関わっているのです。私たちがこれら二種類の考え方や話し方を共に保持する場合にのみ、私たちはイエスに真に従う者として教会の中で生きることができるのです。

(1017)

教会を信じること

教会は、信仰の対象です。使徒信条において私たちは、「私たちは父である神を、…父のひとり子、イエス・キリストを、…聖霊を信じ、聖なる普遍の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだの復活、永遠の命を信じます」と祈ります。私たちは、教会を信じなくてはなりません。使徒信条は、教会が、父と子と聖霊の神を信じるよう私たちを助けてくれる組織であるとは、言っていません。そうではなく、私たちは、神を信じているのと同じ信仰をもって、教会を信じるように招かれています。

しばしば教会を信じることは、神を信じることより難しく思われます。けれども、神への信仰を、教会への信仰から切り離す時はいつでも、私たちは神を信じない者になってしまうのです。神は、私たちと共におられる神となる場として、私たちに教会を与えられたのです。

(1018)

(九里 彰訳)

主の御公現の祭日 マタイ 2, 1-12

「学者たちはその星を見て喜びにあふれた」(マタイ 2, 10)。

ベトレヘムの幼子への占星術の学者たちの訪問のマタイの箇所は、本当に印象深い密度の濃いものです。一方で、キリストの秘儀、その光、知識、すべての人間への救いの源泉であることに集中しており、すべての人間の初穂は、まさに遠くから来たユダヤの伝統に所属してはいない学者たちによって象徴されています。天体の動きの中に単なる自然現象を超えた神秘を感じ取り、真剣に追及し、故郷を出て旅してきた彼らは、ベツレヘムの馬小屋にいる幼子に全人類の救い主を見出します。占星術の学者たちは、ユダヤ人出身ではないキリスト者たちにとって代表であり、モデルであり、彼らの模範によってキリストの秘儀に接近し、キリストの弟子となる方法について示唆を提供されています。他方で、この箇所は、イエスが救い主であることの拒絶と信仰における受容がせめぎあう受難と十字架、過ぎ越し秘儀の先取りです。学者たちがもたらした情報に接したヘロデ、祭司長、律法学者たちをはじめ、エルサレムの住民たちの間で起こる動揺、混乱、偽証、イエス暗殺計画は、受難の間に起こるイエスのメシアであることの拒絶の序曲です。

また、東方の学者たちは、神が人類をご自分との邂逅に導く方法の示唆ともなっています。彼らは、不思議な星に触発され、その秘密の解明を真摯に求めて旅に出ました。がしかし、星に導かれてまっすぐにベトレヘムに直行したわけではありません。重要な回り道をしました。つまり、エルサレムに、神に導かれて歩んできた旧約の民の都に、星の光の意味を解明する手がかりを求め、そこで、預言者の言葉に照らされて、ベトレヘム、学者たちにはそれまで思いもつかなかった町を示されました。苦勞の多かった長い旅の目的地にやっと到着、「東方で見た星が先立って進み、ついに幼子のいる場所の上に止まった。学者たちは星を見て喜びにあふれた」。東方の学者たちの人間としての真摯な研究は、神の啓示の光の中で、初めて本当の意味を解き明かし、それまでの人間の苦勞は報われ、喜びに満たされることになりました。彼らは、心に閃いた謎の解明を求めて安住してきた場を脱出する決断をし、多くの困難が予測される旅に出発しました。今、わたしたちは、その目的地、救い主イエスを見出し、見つめています。が、その秘儀の中に、日ごとに、より深く入って行く旅を続けている、これも、事実です。この旅も、神の啓示の光の中で、人間の真剣な探求の方向性と意義を読み取ることで行われてゆくのです。ルカ 渡辺幹夫

主の洗礼 (A)

そのとき、イエスが、ガリラヤからヨルダン川のヨハネのところへ来られた。彼から洗礼を受けるためである。 (マタイ 3:13-17)

主の公現の次の主日に、教会は主の洗礼を記念します。この主日はキリストの宣教活動就任を記憶するために捧げられています。イエスは、宣教活動に就く前、この世でイエスに代わる資格のある人から洗礼を受けられました。

聖マタイは、このときの主と洗礼者ヨハネの会話を語る唯一の福音史家です。洗礼者ヨハネの思いは正しく、本当はイエスから洗礼を受けねばならないのはヨハネ自身なのです。イエスの洗礼の本質は従順です。イエスは御父に従うため宣教活動を遂行しました。イエスは後に血の洗礼を受ける決意をされた時、死に至るまで、それも“十字架の死”(フィリッピ 2:8)に至るまで従順でした。従順は洗礼の本質そのものです。ヨハネがイエスに従わねばならなかった理由です。イエスは御父に従い宣教を始める前に洗礼を受け、洗礼者ヨハネは、教会の、一つの姿としての新しい洗礼を始めるために、イエスに従わねばなりませんでした。

従順は信仰を要求します。私たちはこのお方が命令されることであるから従わねばならないと確信します。これが“信仰による従順です”(ローマ 1:5) 信仰は、恵みによって私たちが神の前に正しい者とします。“正しい者は信仰によって生きる”(ローマ 1:17) ですから洗礼が神の憐れみによって私たちにもたらすものは、神ご自身の正しさ、それは最高の豊かな欠けるところのない正しさです。洗礼は私たちが正しい者とし、神の友とします。洗礼は私たちが天の父の子どもとします。大切なこと、イエスが主の洗礼のときに明白にされたかったことは、御父の声でした。イエスが水の中から上がられた時、父と聖霊が現れました。これはイエスが望まれたことです。本当に、もしイエスがヨルダン川での洗礼をもって宣教活動に就くことが父のご意志であるならば、父のご意志と子のご意志は一致しています。イエスの望みは御父の望みです。ご受難の前の晩、イエスは御父の最高のご意志を成し遂げようとされ仰いました。“わたしが父の内におり、父がわたしの内におられることを信じなさい・・・父が持っておられるものはすべて、わたしのものである”(ヨハネ 14:11-16:15)

イエスはその洗礼の時、私たちに聖三位一体を示したいと思われました。しかし、今の私たちにはもっと素晴らしい時があります、聖体祭儀です。イエスは言われました。“生きておられる父がわたしをお遣わしになり、またわたしが父によって生きるようにわたしを食べる者もわたしによって生きる。”(ヨハネ 6:57) ご聖体をいただく者は既に神聖な三位一体の命を生きています。イエスをその内にいただく者は神の養子となります。わたしたちの母であるマリア様に願いましょう、私たちがマリア様の神なる御子をいただき、真の神の子どもとなり、またマリア様ご自身の子どもにさせていただけますように！と。

(Sr. Paulina)

年間第二主日 A ヨハネ 1,29-34

「世の罪を取り除く神の子羊」(ヨハネ 1,29)。

この洗礼者ヨハネの言葉は、二つの聖書の重要な主題を想起させます。一つは、神の「僕」、囚われの状態にいる人々の解放の道具となり、他者のために生きられた生涯を貫徹する僕の像です。もう一つは、同じように解放をもたらすものですが、モーセに導かれた出エジプト、過ぎ越しのときほふられ、その血によってイスラエルが滅びを免れた子羊の像です。洗礼者は、キリストの人物象と使命の意味を、その証言の枠となっている二つの称号で説明しています。イエスは、「神の子羊」(ヨハネ 1,29)であり、「神の子」(ヨハネ 1,34)です。同じように、それぞれの称号には、特殊な行為が対応しています。それぞれに、「世の罪を取り除く」と「聖霊によって洗礼を受ける」と言われています。これだけのことで、洗礼者は、イエスの地上の生活を受肉から死と復活の過ぎ越しまで要約し、その上に、イエスの神の子としての御父とまた聖霊との交わりの神秘にまで言及しています。言ってみれば、洗礼者は、キリストの先駆者、予告者ですが、同時に、すでに、キリストの復活後、教会が聖霊に導かれて使徒信条として信仰告白するものすべてを証言している、と言えます。それで、新しい年の初めに、教会が、この一年を、イエスへの信仰を宣言しつつ生きるとの決意を、洗礼者ヨハネの姿を借りて表明しようとしているのです。

神の独り子イエスは、世に来て、ほふられる子羊として神の僕の道を歩み、その十字架のいけにえから聖霊の洗礼が流れ出てくる、そして、聖霊は、世にある罪の勢力への決定的な勝利の原動力です。神の子羊、イエスが取り除く「世の罪」とは、勿論、わたしたち人類のすべての罪なのですが、しかし、罪、人類が犯した数え切れない罪を一つ一つ残さずすべて、と言うよりは、「罪」そのもの、すべての罪の根源にあるもの、また、罪の発想、価値観が作り出したもの、そのようなものに支配された人類が良かれと思って作り出してきてしまった社会体制、文明と言われているもの、すべてをも含む「罪」を指しています。それで、ここでは、単数形で罪と表記されているのです。罪と罪が作り上げている体制、文明に対しては、イエスは、その十字架の死と復活によって、打ち勝っています。しかし、その勝利は、まだ、全貌をもっては現れていません。今日も、イエスは、ご自分の過ぎ越しを支えた霊、聖霊を、ご自分に従う人たちに送り、「世の罪を取り除く」働きを共に生き、真実の幸福を生きる世界を建設する喜びをも共にするようにと、招いているのです。ルカ 渡辺幹夫

年間第3主日(A)

「悔い改めよ。天の国は近づいた」 (マタイ4:12~23)

本日の福音で、聖マタイは私たちに主の初めての宣教生活のことを語っています。聖マタイはとりわけ、イエスの説教が始まったことでこの世にもたらされた変化を強調したいと望んでいます。洗者ヨハネが捕らえられ、古い律法は新しい律法によって光を失いました。ガリラヤへの道を進むイエスは、この世の全ての人により広く与えられる神の救いです。聖マタイはこれら全てをまとめて預言者イザヤのことばを引用して、「ゼブルンの地、ナフタリの地、湖沿いの道、ヨルダン川のかなたの地、異邦人のガリラヤ、暗闇に住む民は大きな光を見、死の陰の地に住む者の光が射し込んだ。」(イザヤ9:1)と言いました。

イエスはガリラヤ地方を旅し、「悔い改めなさい。天の国は近づいています」と言って教えを説きます。今日、もし私たちの町の通りを旅している誰かが、出会う全ての人たちに「悔い改めなさい。天の国は近づいています」と言ったら、私たちはどうするのでしょうか？ 多分よい反応も悪い反応もあるでしょう。全て私たちを動かす霊によるでしょう。神の霊に注意深い人は、よい反応をするでしょう。悪の霊に導かれるままになっている人は、きっとこの見知らぬ説教者の態度に悪い反応をするでしょう。できるだけ早く監禁しなければならない危険な精神異常者と考える人はいうまでもなく悪い反応を表します。イエスはこの世の考えに反しています、イエスはこの世をかき乱し、苦しめるために来られたのですが、この世は2,000年の間イエスのやり方に加えて一つの反応しか持っていません。愚かなことと呼ぶことです。聖パウロは「私たちは十字架につけられたキリストを宣伝しています、ユダヤ人にとってはつまづきのもと、異邦人にとっては愚かなことです」(一コリント1:23)と言っています。

全てを捨てて主に従うようにペトロ、アンデレ、ヤコブ、ヨハネを導いたのは「十字架の愚かさ」(一コリント1:18)ではなかったのでしょうか。彼らはキリストに従っていくために、本当に愛に狂わねばなりません。確かに、ペトロや他の人たちが自由に、強制ではなく、しかも固い意志をもってキリストの弟子として従うためには、神の霊が内的に神の全能を明らかにしなければなりません！

ペトロ、アンデレ、そして彼らの仲間たちは、おそらく金持ちではなかったでしょう：捨てるものはたくさんはなかったでしょう。しかしこのことは重要ではありません：大切なのはイエスへの愛から全てを捨てたということです。その上、主であり先生に付いた直後、ペトロたちは漁に再びもどらなければなりません。生きるために自分たちの糧を得て食べる必要があったからです。人が主のために大切にしているものを捨てる時、主はすぐに返してくださいます、あるいは更にずっとよいものをくださるでしょう！

イエスがどこに行こうとついていくように準備しましょう、というよりもむしろイエスの霊を通して私たちにどこに行くようにいわれてもついていくように準備しましょう。キリストの霊は常に教会で、そして世界で働いています：私たちにあれをしなさい、これをしなさいと告げるためにサインを出します、また私たちに望んでおられることを私たちが理解する手助けをするために私たちの行く手に様々な人を置きます。キリストにとどまる霊は私たちの心に生きています；私たちがキリストを「全く」愛するように手助けする方です！聖霊の配偶者である最も祝福されたおとめマリア様が私たちの日々の生活の助け手となり友となってくださいように！(Sr. Paulina)

年間第四主日 A マタイ 5, 1-12a

「心の貧しい人々は、幸いである」(マタイ 5, 3)。

二つの理由で、第一の「幸い」にのみ留まりましょう。何よりもまず、多くの注解者たちが言うように、他のすべての「幸い」を要約する、あるいは、その背景、前提となることができるものですから。その上に、今日の日曜日の第一朗読と特別に共鳴しているものですから。

古代イスラエルでは、貧しい者たちは、いかなる考慮も享受していなかった。せいぜい、彼らには、憐憫の何らかの形態が実践されていたようだが、貧しさの状態そのものは、神の呪いを表象していた。逆に、財産や富を所有することが、人間をすべての善(シャローム)で満たす神の祝福、好意のしるしであった。より後代になってのみ、貧しさの肯定的な宗教的見方が始まった。この見方は、自分を誇る何も持たない者、それで、神との親密さを受容することのできる謙虚な者を貧しい者の中に見ている。こうして、詩編の中に、しばしば、神から特に愛された貧しい者の姿を発見する。この時点で、貧しい者たち(アナイーム)が、単に、地上的財に欠乏する者としてのみが理解されるのではなく、神への心構えの整っている謙虚な者とも解される。彼らは、自分たちの卑しい社会的状態を、神とのより親密で真実な関係を生きるための機会に変容することを知っている者たちである。

それで、イエスの時代、「貧しい(アニ)」と「謙遜な、柔和な(アウ)」との間にはさほど大きな違いがなかったことが分かる。二つの単語は、同じ語源を持ち、しばしば、相互に入れ替わっている。「心の貧しい」は、ルカ版の「貧しい」とのより簡素なテキストをマタイが改良した言い方と思える。それは、多分、ヘブライ語の用語が到達した意味の広がり発展過程をすべてこのギリシャ語の単語に含ませるためであったであろう。それで、「心の貧しい者たち」は、実際に貧しい者たちであって、内面的に貧しいだけではない。「心の」の付加は、単に社会学的ではなく、宗教的、霊的でもある貧しさの次元を強調することを可能とする。山上の説教が教えることは、貧しさや悲惨さがそれ自体で価値があるからではなく、人間の状況の根源的貧しさのしるしであり、自分の力では自分を救うことのできない悲劇的な事実の証人であり、それで、無償で救ってくださる神への期待の場と委託の学び舎であるから、幸いなのであるとの、福音なのです。

ルカ 渡辺幹夫

十字架の聖ヨハネ こぼれ話 (43)

ホセ・ヴィセンテ・ロドリゲス o.c.d.

グラナダ (3)

修道女たちの告解を聞いた後、彼らはロス・マルティレスの修道院へともどり、起こったことを聖人（訳注：十字架の聖ヨハネのこと）に話しました。聖人は、全神経を集中して話に耳を傾けた後、彼らにこう言いました。

「ああ、愚かな人たちだ。彼がだれだか分からなかったのだから。彼が聖ヨセフであると分かったならば、聖人の前でひざまずかなければならなかったのに。そうだ、私のために、このことは起こったのだ。私が彼を愛し、彼に仕えている以上に、彼を愛し、彼に仕えるのを喜ばれるということだ」。

私はこの出来事を、——この場合、十字架の聖ヨハネは修道院の中にいたのですが、——「修道院の外での十字架のヨハネの小さき花」の一つに入れました。けれども、これは、私たちの聖人のために、はっきりした目的をもって、他の人々の上に起こったことなのです。こうして、その時以来、この栄えある聖人（聖ヨセフ）への信心は盛んになりました。このことは、1854年に起こりました。

(続く)



…ケリトの水にうるあされて…

カルメルの聖人たちの祈り

23. 福者テトス・ブランズマ (1881-1942) — その1

福者テトスは、1881年2月23日、オランダ北部のフリースラント州(フリジア地方)に生まれた。オランダではカトリック信者は少なく、当時、カトリック信仰が禁じられていたにもかかわらず、家族は熱心なカトリック信者であり、フランシスコ会に入会した兄と、修道女になった三人の姉妹がいる。彼自身、幼いころから司祭になることを志し、1898年9月、オランダ南部のボクスメルで履足カルメル会に入会。修練期の間に、アピラの聖テレジアの著作に親しむようになり、その翻訳を手がけ始めた。1905年司祭叙階、1909年、ローマの教皇庁立グレゴリアン大学で哲学博士号取得。オランダに帰国して、神学生の養成に携わる。教授職の傍ら、カルメル誌を創刊し、1916年には、アピラの聖テレジアの著作の翻訳を進めるためのグループを結成、他方で地元の新報の編集者に選ばれるなど、ジャーナリズムの分野でも活躍する。1923年に創立されたナイメーヘン・カトリック大学の設立にも関わり、哲学と神秘神学史を教えた。

ジャーナリストとしては、世界の善益のためにメディアを積極的に活用し、真実を公言してナチスに抵抗、ナイメーヘンでは学生から慕われる教授であり、神秘神学の講義においては、自身の深い祈りの生活の実りを語っていることを感じさせていた。カルメル会においては、共同生活を重んじ、すべての勤行に参加した。十字架の神学に深い興味を抱いており、それは、彼の未来を準備することとなったようである。

1942年1月、ナチスにより逮捕される。彼は自分を逮捕しに来た人をも許し、イエスの足跡に従った。ナチスは彼を最も危険な敵対者とみなし、強制収容所を転々とさせた。獄中で、詩を書き残した他、アピラの聖テレジアの伝記を書き始めたが、未完のまま終わっている。8世紀にフリースラントの地に初めて信仰を伝え殉教した聖ボニファチウスをまつる教会のために書かれた十字架の道行きの黙想も、獄中でしたためられたものである。1942年7月26日、ダッハウ収容所で石炭酸の注射により殉教、訪れるところには、どこにでも——ダッハウにさえ——幸福をもたらしたその生涯を終えた。1985年11月3日、教皇ヨハネ・パウロ2世により、列福。聖テレジアと十字架の聖ヨハネを深く愛したテトスの列福は、履足・跣足の両カルメル会にとって大きな喜びとなった。



福者テトス・ブランズマ

—— 祈り ——

独房の中で、イエスの御絵を前にして

あなたの愛に対する新たな気づきが
私の心を包んでいます。
甘美なるイエスよ、あなたのうちにある私と
私のうちにおられるあなたは、決して離れ離れになることがないでしょう。

私の歩む道には、いかなる悲しみも訪れることはありません。
けれど、私は、あなたの悲しみに満ちた目を見ることでしよう。
あなたがかつて歩かれた孤独の道は、
私を悲しみを賢明に受け入れる者へと変えました。

すべての困難は、白く輝く光に照らされた喜びです。
それは、私のもっとも深い闇の日を照らします。
あなたの愛は、この夜のような道を
もっとも明るい光へと変えてくださいました。
あなたお一人さえ、私とともにいてくださるなら、
すべての時は、静かで冷たく感じられるその愛の手で
私の完全な孤独を祝福してくれるでしょう。
イエスよ、私とともにとどまってください、ただとどまってくださるだけでよいのです、
そうすれば、私は恐れることはありません。
手を差し伸べさえすれば、
私はあなたを近くに感じます。



* * * * *

この記事は、跣足カルメル在俗者会員ペニー・ヒッキー氏が編集された Drink of the Stream: Prayers of Carmelites (Ignatius Press, San Francisco, U.S.A., URL <http://www.ignatius.com>) の中から、出版社の許可を得て、抜粋・邦訳したものです。

(注) タイトル中の「ケルトの水」とは、主が預言者エリヤに言われた、「ここを去り、東に向かい、ヨルダンの東にあるケルトの川のほとりに身を隠せ。その川の水を飲むがよい。わたしは鳥に命じて、そこであなたを養わせる(1列 17:3-4)」ということばに由来しています。

(東京カルメル会訳・編)

昨年洗礼を受けた夫が近頃日常的に聖書を開いていて、しばしば何がどうしたとか、ああだとかこうだとか声をかけてきます。

そのせいで私もつい自分の聖書を手にとって何だかだと云うわけですが、今回あらためて聖書に目をとめ、心に向けてみたく思いました。

聖書は全世界で時代を越えての絶対的ベストセラーといわれます。キリスト教徒だけが買っているのではないとしても、一体世界中にはどのくらいの聖書が存在しているのでしょうか。例えばホテルの部屋の必需品でもあり日本のホテルでもそうしたところがあるようで、私も実際に見たことがあります。

また、誰もが知る質問「無人島に行くとして、本を一冊持参していいと云われたら何を持って行きますか」に対しても「聖書」が最も多いのだそうです。

正直に云って、読んで面白い本という部類ではないと思いますし、関心を誘われて一気に読み明かすこともそうそうには無いでしょう。

何がそれほどに人々を惹きつけているのでしょうか。

もとは、ヘブライ語、アラム語、ギリシア語で書かれているそうですが、全世界で翻訳されているその言語の数は何と2400語を越えると云われると、本当にびっくりしてしまいます。

因みに日本語訳の最初は1835年のヨハネ福音書で、全文カタカナだとか。「ハジマリニカシコイモノゴザル」と始まるそうですが、何という端的で深いことばかと私は感動しました。出来ることならカタカナの「ヨハネ伝を」是非とも読んでみたいものです。

この世界の古典として、文化の源泉として、精神の指針として恐らく信仰、宗教の面をはずしても、人々は永永さまざまな思いをもって聖書を手にとり頁を開いているのでしょう。

そういう我が家にもこの半世紀の間に7、8冊の聖書が並びました。聖書協会訳、新改訳、共同訳、新共同訳、フランシスコ会訳、翻訳委員会訳、……。勿論全部を日頃開いてみるというのではなく、常に手にするのは、ただの一冊だけです。それでも訳文の違いなどは、何の知識もないただの素朴な読み手にとっても興味をそそられます。

夫の聖書は、新共同訳のとても片手では持てない大きなもので、(計ってみると重さは1500グラムありました)両手でも無理なようで、いつも膝の上に

抱きかかえています。(時にはそのまま居眠りしたりして大変のどかではありません) 私の聖書は、聖書協会1954年改訳のものですが、40年余りも前のカトリック教会はバルバロ訳が殆どで、あなたのはプロテスタント訳などと云われて、少々心もとない思いをしていました。(但し、この訳ではイエスなのに私としては常にイエズスなのですが)

ふり返れば、この聖書とは40年以上も共にしてきたので私同様にすっかり古びてしまい、文字通りのボロボロです。夫の背広の残り布でカバーをしていますが、綴じ糸は切れてしまい頁はひきちぎれ、多くの個所をセロテープで補修したために、年月の経過で茶色く変色し、糊がくっついて頁が開かなくなり、破れないようにそっと触らねばなりません。

見開きに貼りつけた、十字架の聖ヨハネの「完徳の山」の図も色あせ、扉の部分に書き込んだたくさんの言葉もラテン語だかイタリア語だか、その時は思い入れいっぱい記したものの今になって意味が分からないものまであって、やれやれの感じもあります。 頁一面を埋める傍線、書き込み、はたまた落涙の跡、その惨状には今見ても我ながら息苦しく胸塞ぐ思いです。 いつ頃なのかこんなことも書いています。 満身創痕の私の聖書、きっとキリストの満身創痕、そして私の満身創痕。 極め付きは頁の重なる部分に幼い手で記された「ママ ままの本」という文字です。次男が5歳か6歳の頃に書きました。 どこかへ行ってしまうかのような母親に対して、寂しさ、不安感いっぱいだったのでしょうか。 これを見つけた時、私は心の底の底から泣きました。それ以来、この鉛筆の幼い字を消さぬよう上から何度も何度もなぞってきました。

あらためて考えてみるのです。

聖書とは何なのでしょう。 この日常に根を下ろし、しかもこの世を越えて永遠の中に在るもの。 この一冊の書物には何がこめられ、人は、私はここに何を求め、何を受けとり、また何を注ぎこむのでしょうか。 神と人とが在る限り「あなた」と「私」の対話が続く限り、きっとこれからも千年も万年も存続するであろうもの。 手に馴染み、身に馴染み、魂に馴染んだ私の聖書を、両手で撫でさすりつつ今、悠久の遙かさに包まれます。

極まりには賛美と感謝しかない中で、七十余年の私の生涯を想い、限りない神のはからいを想い、今もいつも世々に合一なる私の主イエズスキリストを深く想います。

“見えないプレゼント”

“あけましておめでとうございます”

よい年をお迎えになられたでしょうか？ 本年もまたどうぞよろしく願い致します。

1年の終りとなりますと、人は何かしめくくりをし、新しい年をフレッシュな気持ちでスタートしたい と思うものです。その現れの一つとして、日本の習慣による“お歳暮”というものがあり、新年には“お年玉”とうい善意のやりとりがあります。子供にとっては、この目に見える大人からのおくり物で喜び、そこから“やる気”というエネルギーが湧いてくるのです。

では、私たちカトリック者は、神さまから頂いた、あるいはすでに頂いているものを“プレゼント”と自覚していますでしょうか!! 当たり前というぶ厚い外套が蔽ってしまい、しかもある時はそれがマンネリ化してしまわないでしょうか？

“マンネリ”とは“当たり前”“またそうなんだ”という具合に、感謝が湧きません。 ということは行動のエネルギーが湧いてこないのです。

子供がプレゼントをもらうことによってエネルギーが出るなら、大人の私たちは、神さまからのプレゼントを頂くことによって、もっとエネルギーが湧くはずです。ボクシングのように、腕力が出るのではなく、小さな善いことをするのに、気づきがあり、エネルギーが出てくるということです。“やる気”というエネルギーがその人を動かします。

聖書に、“イエスによって盲人が開眼した”話があります。あの話は他人ごとでなく、もしかしたら私自身かもしれないのです。見えないとエネルギーが出てこないのです。

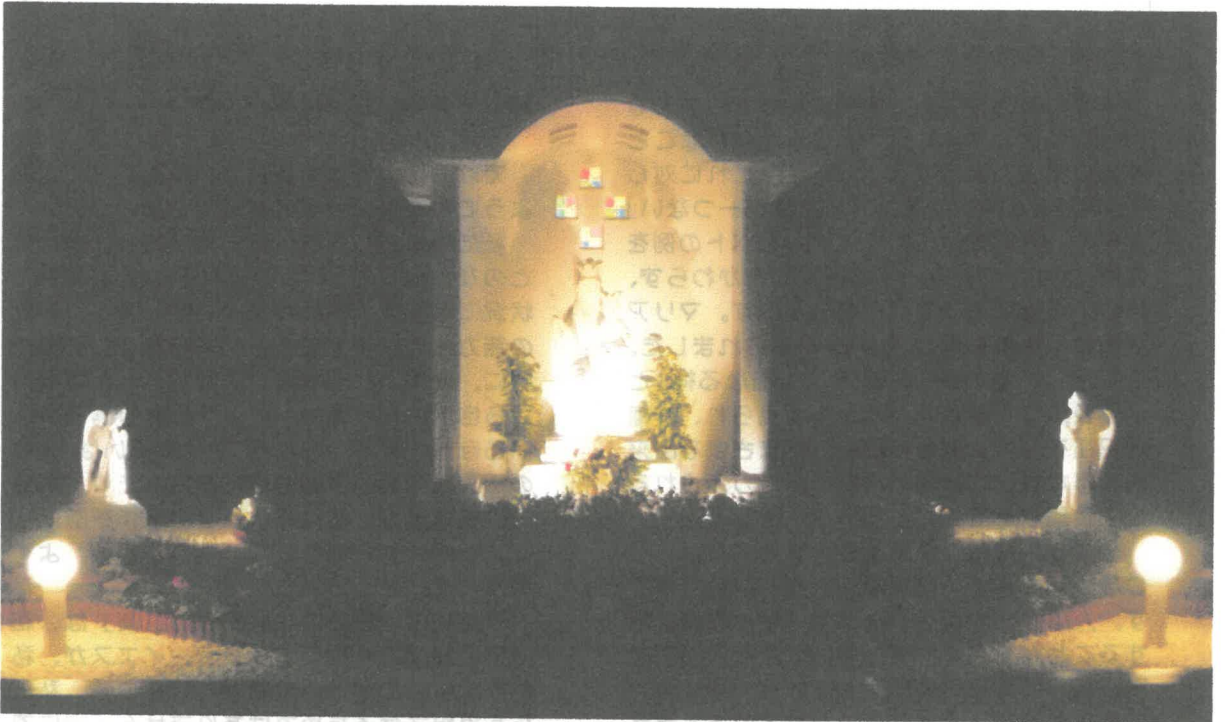
心眼がもっと開いたなら、日常の平凡なコトの中にも、もっと神さまのはからい、人々への思んばかりが見えるようになることでしょう。

“神さま、今年こそ どうぞ私の目を開いて下さいますように”と、聖書に登場する“盲目の人”と同じ言葉が出てくるようになりました。

お告げのフランシスコ姉妹会 S r. 熊田 照子

カルメル山の聖母マリア像

(T8・T9)



カルメル山の聖母マリア像

東京 カルメル修道会 上野毛修道院

いのちの言葉 12月

神にできないことは何一つない。

(ルカ1・37)

天使のお告げがあった時、マリアは、お尋ねになりました。「どうしてそのようなことがありえましょうか」(*1)と。これに対して、天使は「神にできないことは何一つない」と答え、その裏付けとしてエリザベトの例をあげ、彼女が年を取っているにもかかわらず、男の子を身ごもったことを伝えます。マリアは天使の言葉を信じ、主の母となりました。

神様は全能でおられます。「全能なる神」という表現は、聖書の中に数多く見られ、神様が祝福を与え、裁きを行い、さまざまな出来事を導かれ、ご計画の成就にあたり示される力を表現するために、用いられました。

ただし、神様の全能をさえぎるものが、一つだけあります。それは、人間の自由意思です。人は自分の意思によって神様の御心に反することもできますが、それにより無力な存在になってしまいます。人は本来、神様の力にあずかって生きるよう招かれていると言えるでしょう。

神にできないことは何一つない。

このみ言葉は、父である神様の愛に限りない信頼を置くよう、私たちを招いています。確かに、神様が愛でおられるなら、全面的に信頼するのは当然のことでしょう。

神様はあらゆる恵みをお与えにすることができます。生活に必要な恵みや霊的な恵み、実現可能なことも、不可能に思えることも、です。神様は、求める人に恵みをお与えになります。求めない人にも与えてくださいます。福音にあるとおり、天の父は「悪人にも善人にも太陽を昇らせ」(*2)、私たち皆が御父の全能を信じ、御父のようにすべての人を愛することを望んでおられます。

神にできないことは何一つない。

では、このみ言葉を日々の生活の中でどのように生きることができのでしょうか。

私たちのだれもが、自分の生活や、他の人とのかかわりの中で、難しく苦しみに満ちた状況に直面する場合があります。また、自分の無力さを痛感することもあります。自分の中に、物や人への執着があって、本当はそれから自由になりたいのに、すっかり縛られている自分に気がつくからです。あるいは、人々の無関心や利己主義の壁に出会ったり、自分の力をはるかに超えるような出来事を前にして、ひどく気を落としたりすることも、よくあります。

そんな時、今月の「いのちの言葉」は、私たちを助けてくれるでしょう。イエスが、私たちに自分の無力さを経験させるのは、私たちを落胆させるためではありません。「神にできないことは何一つない」と、私たちがよりよく理解するためです。神様の恵みが持つ特別な力を経験できるよう、イエスは私たちを準備してください。私たちが、自分の乏しい力ではできないことに気づく時はじめて、神様の恵みは表れるからです。

神にできないことは何一つない。

難しいことがある時、このみ言葉を繰り返し言ってみましょう。み言葉の持つ力が私たちに与えられ、何らかの形で私たちも、神様の全能にあずかることができるでしょう。ただし、そのためには一つ条件があります。私たちの心に注がれた神様の愛を、周りの人にもたらしながら、神様のみ旨を生きることです。こうして、被造物に対する神様の「全能

の愛」と、私たちは一つになります。この神様の愛には、何も不可能なことはありません。私たち一人ひとり、またすべての人に対する神様のご計画が実現するため役立つ場合には、すべてが可能です。

また、このみ言葉を生き、素晴らしい爽りを経験できる特別な時があります。それは、祈りの時です。

イエスは、ご自分の名によって御父に願うなら、「どんな願いごとであれ」御父はかなえてくださる、と言われました。ですから、御父にはすべてが可能だという確信を持って、私たちが心にかけていることを願いましょう。絶望的な状況が解決すること、世界に平和が訪れること、重い病気が治ること、家庭や社会の中で争いがなくなることなども、願うことができるでしょう。

また、私たちが互いに愛し合い、心を一つにして共に願うなら、私たちの間におられるイエスご自身が、御父に祈ってくださいます。そして、イエスが約束されたように、その願いは、聞き入れられるでしょう。

ある日のこと、私たちも、神様の全能と愛に信頼して、Nさんのために祈ったことがあります。その人は、レントゲン検査の結果、腫瘍があると診断されたのですが、これが何かの間違いで、まぼろしのように「消え去る」ことを私たちは願いました。そして、後で本当にそうになりました。

このように、御父に限りない信頼を置く時、私たちは、何でもできるお父さんの腕に抱かれているように感じます。人生のあらゆる出来事の中で、私たちはいつもこのような信頼を抱くことが必要でしょう。ただし、私たちの願いがいつも聞き入れられる、というわけではありません。神様の全能は、父親としてのものだからです。子供たちがそれを知っているか否かにかかわらず、御父はいつも、子供の善になることだけに、その全能をお使いになります。大切なのは、私たちが「神様にできないことは何もない」という確信をますます強めながら、生きることでしょう。その時、私たちは、今までに経験したことのない平和を味わうことができるでしょう。

キアラ・ルービック

* 1 ルカ1・34 参照

* 2 マタイ5・45 参照

フォコラーレの創立者キアラ・ルービックが、2008年3月14日に帰天した後、彼女が過去に残した解説を「いのちの言葉」として取り上げます。今月の言葉は、1999年12月に発表されたものです。

★ **いのちの言葉は聖書の言葉を黙想し、生活の中で実践するための助けとして、書かれたものです。**

いのちの言葉の集い

東京近辺の各地でいのちの言葉を読み、生活の中で実践した体験の分かち合いをしています。ご興味のある方は下記までご連絡ください。

連絡先

フォコラーレ：03-3707-4018/03-5370-6424

E-mail:tokyofocfem@ybb.ne.jp

ホームページ：で検索

<http://www.geocities.jp/focolarejapan/focolaresito>

●お知らせ

長崎：クリスマス集い

12月12日(日)13:30~17:00

聖マリア幼稚園(城山カトリック教会)

関東：「いのちの言葉」のつどい

12月12日(日)14:00(13:30受付)

藤沢市労働会館(藤沢駅より徒歩10分)

新年会

2010年1月10日(月・祝)14:00(13:30受付)

聖イグナチオ教会・ヨゼフホール(四ツ谷)

新刊紹介



●イエスの聖テレサ—霊的な人々の母（新刊）

聖テレサを知るための『入門書』。本書は、世界的な聖テレサの研究家である著者が描いた聖テレサの生涯、人となり、著作や思想を年代順に様々な角度から、きわめて総合的にそして興味深く語っている。祈りを通して、神と出会い、本当の自己を知るに至った聖テレサの生涯は、多くの人に各自の心の内奥の真の「自己認識」へと至るためのヒントを与えてくれる。聖テレサを知るための、またとない好著である。

定価：1,155円（税込み）

著者：トマス・アルバレス

訳者：松田浩一 神父（カルメル修道会司祭）

判型：B6判並製

ページ数：188ページ

ISBN：978-4-8056-0473-1

発行：サンパウロ

カトリック書店：サンパウロ、ドンボスコ書店等でご購入できます。

目と手と... 目と手と... 一々に寸雲手裡土

※※ (感謝) 謝意を込めて ※※ 同全感謝

カルメル会の企画案内

2011年

1月1日 - 1月15日

1月16日 - 1月31日

2月1日 - 2月15日

2月16日 - 2月28日

3月1日 - 3月15日

3月16日 - 3月31日

全感謝の儀式の答謝主催者

父特選朝川中 贈(日)日8 氏8〜食々(日)日18日7

父特選 泉今 (金)日01日8〜食々(木)日11日8

父特選朝川中 (水)日01日8 氏1〜食々(水)日27日8



父特選 泉今

父特選玉田遊

父特選小ナム

泉頭朝川古

父特選朝川中

父特選朝川中

父特選小ナム

泉頭朝川古

父特選玉田遊

父特選 泉今

上野毛靈性センター '11年01月～'12年3月

黙想企画 ** 聖テレジア修道院(黙想) **

1. 一泊聖書深読指導：新井延和神父

(毎回金曜日夕食～土曜日16時)

2011年

4月15日～16日

6月17日～18日

9月 9日～10日

11月11日～12日

2. 奉獻生活者のための黙想会

2011年

7月31日(日)夕食～8月 8日(月)朝

中川博道神父

8月11日(木)夕食～8月19日(金)朝

今泉 健神父

12月27日(火)夕食～1月 4日(水)朝

中川博道神父

3. 木曜黙想会(毎回木曜日10時～16時)

2011年度共通テーマ《いのち》

4月28日 「いのちの充満 ー復活祭の喜びー」

今泉 健神父

6月16日 「いのちの言葉」

福田正範神父

9月15日 「ほまれある長寿 ー知恵の書4章8～9節についてー」

ベルナルド神父

11月18日 「いのちであるお方とともに」

古川利雅助祭

2012年

1月26日 「永遠のいのち ー霊から生まれた者は霊であるー」

中川博道神父

4. 金曜黙想会カルメルの聖人(毎回金曜日10時～16時)

2011年

5月20日 「ご復活のラウレンシオ」

中川博道神父

7月 8日 「神の預言者聖エリヤ」

ベルナルド神父

10月28日 「福者三位一体のエリザベット」

古川利雅助祭

12月16日 「十字架の聖ヨハネ」

福田正範神父

2012年

2月17日 「幼きイエスの聖テレジア」

今泉 健神父

5. 青年黙想会(男女) 福田正範神父、古川利雅助祭、修練者

4月29日(金)16時～ 5月 1日(日)16時

7月16日(土)16時～ 7月18日(月)16時

11月25日(金)16時～11月27日(日)16時

6. 召命黙想会(男女) 福田正範神父、古川利雅助祭、修練者

10月8日(土)16時～10日(月)16時

7. 祭日のミサに参加するために

【聖週間】 チェックイン午後3時以降可、チェックアウト午前10時

聖木曜日から復活祭まで通して参加可能です。またどの曜日からでも参加可能です。

2011年 4月21日(木)～24日(日)《講話なし、各食事つき》

【クリスマス】 チェックイン午後3時以降可、チェックアウト午前10時

2011年12月24日(土)～25日(日)《講話なし、夕食なし》

8. 特別黙想会 伊従信子(ノートルダム・ド・ヴィ)

テーマ：「私は神を見たい」

5月27日(金)20時～29日(日)16時 「聖霊に導かれて」

27日は夕食を済ませてご参加ください。

10月14日(金)20時～16日(日)16時 「祈り」

14日は夕食を済ませてご参加ください。

9. 待降節黙想会

12月 9日(金)夕食なし～11日(日)昼まで 指導：古川利雅助祭

電話でのお問い合わせは午前9時から午後4時45分までをお願いします。

またお申し込みは電話でもお受けしますが、間違いを避け、時間も問いません
のでなるべくFAX・はがき・Eメールでお願い致します(お返事はいたしません)

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛 2-14-25

聖テレジア修道院(黙想)

TEL 03-5706-7355

FAX 03-3704-1764

e-mail:mokusou@carmel-monastery.jp



「キリスト教の基本を学ぶ」

— 洗礼準備の為、又キリスト教の基本を学びなおす為に —

対象：どなたでもご参加ください

指導：中川 博道 (カルメル修道会)

場所：カトリック上野毛教会 (信徒会館)

朝のクラス <10:30~12:00> 夜のクラス <19:30~21:00>

いずれも金曜日

| | 月日 | テーマ | 聖書箇所 |
|----|----------------|--|----------------------|
| 7 | 2010年 9月17日 | 「人間の問題性からの脱出」 聖書のライトモチーフとしての「脱出」というテーマ | 出エジプト記 1章~3章 |
| 8 | 10月8日 | 「人間の問題性に関わる神の本質」 神の名前 | 出エジプト記 3章 14節をめぐって |
| 9 | 10月22日 | 「イエス・キリストに出会う」 最初にイエスに会った人々 | ヨハネ 1章 35節~42節 |
| 10 | 11月5日 | 「福音が語るイエス・キリスト」 天地人への関わりを愛において生きるキリスト | |
| 11 | 11月19日 | 「イエス・キリストの自己理解」 イエスが伝えたいもの | マルコ 10章 45節 |
| 12 | 12月3日 | 「キリストに近づく」 — 洗礼と永遠の命 — | ヨハネ 3章 1節~21節 |
| 13 | 12月17日 | 「教会：キリストに呼び集められた人々の集まり」(1) キリスト者の原型としてのマリア | ルカ 1章 26節~38節 |
| 14 | 2011年 1月7日 | 「教会：キリストに呼び集められた人々の集まり」(2) 教会共同体の原型としてのエリザベトとの出会い | ルカ 1章 39節~56節 |
| 15 | 1月21日 | 「キリストと共に生きる道」(1) 荒野に生きる道を探して | 出エジプト記 20章 申命記 5章 |
| 16 | 2月4日 | 「キリストと共に生きる道」(2) 現代における生き方の模索 | マタイ 6章 12節 |
| 17 | 2月18日 | 「キリストと共に生きる道」(3) 十戒の意味を探して | |
| 18 | 3月11日 | 「主の祈り」 主と共に生きる道 | マタイ 6章 5節~15節 |
| 19 | 3月25日 | 「キリスト者の基盤」 | 使徒言行録 2章 42節 |
| 20 | 4月15日 | 「秘跡」 生きるキリストに伴われて歩む | |

<お問合せ：carmel-reisei@hotmail.co.jp>



「カルメルの靈性に親しむ」

—カルメルの靈性をとおして イエスとの出会いの道を探します—

2011年 2月 22日(火)

2月 25日(金)

聖書講座

「キリストとの親しさ」

—出会いの神学—

キリストと出会った人々の姿を 聖書をとおして辿ります

2011年 3月 15日(火)

3月 18日(金)

《時間》：(朝)火曜日 10:30～12:00 (夜) 金曜日 19:15～20:45

《担当》：中川博道神父 (カルメル修道会)

《場所》：カトリック上野毛教会 信徒会館ホールに於いて

<お問合せ : carmel-reisei@hotmail.co.jp>

2011年 黙 想 会 案 内 (宇治カルメル会)

【一般のための黙想】

・1泊2日 (午後5時～午後4時)

| | |
|--------------------------|--------|
| 1月 8日(土) ～ 9日(日) 新しい人 | 渡辺幹夫神父 |
| 3月 5日(土) ～ 6日(日) 永遠の命 | 九里彰神父 |
| 5月21日(土) ～22日(日) 希望 | 新井延和神父 |
| 7月 2日(土) ～ 3日(日) 今日を生きる | 渡辺幹夫神父 |
| 9月 3日(土) ～ 4日(日) 人を赦すこと | 九里彰神父 |
| 11月19日(土) ～20日(日) ユダヤ人の王 | 新井延和神父 |

【聖書深読黙想会】

・1日黙想 (午前10時～午後4時)

| | |
|-----------|--------|
| 2月26日(土) | 新井延和神父 |
| 4月30日(土) | 渡辺幹夫神父 |
| 6月11日(土) | 松田浩一神父 |
| 10月 8日(土) | 九里彰神父 |
| 12月10日(土) | 新井延和神父 |

・水曜の黙想 (午前10時～午後4時)

| | |
|------------------------|--------|
| 1月19日(水) バビロン捕囚 | 新井延和神父 |
| 2月 9日(水) イエスキリストに学ぶ | アダミニ神父 |
| 3月30日(水) 悔い改めにふさわしい実とは | 九里彰神父 |
| 4月13日(水) 復活の希望キリスト | 松田浩一神父 |
| 5月11日(水) 聖霊の賜物 | 渡辺幹夫神父 |
| 6月22日(水) 三位一体 | 新井延和神父 |
| 7月13日(水) 幼子の心 | 九里彰神父 |
| 9月14日(水) 私たちの生活と十字架 | 松田浩一神父 |
| 10月12日(水) ロザリオの祈り | 渡辺幹夫神父 |
| 11月 2日(水) 死とは何か | 新井延和神父 |
| 12月14日(水) 愛の生ける炎 | 九里彰神父 |

・四旬節の黙想（午後5時～午後4時）

3月19日（土）～3月20日（日）

渡辺幹夫神父

・待降節の黙想（午後5時～午後4時）

12月 3日（土）～12月 4日（日）

松田浩一神父

・聖テレーズの黙想（午後5時～午後4時）

9月30日（金）～10月 1日（土）

伊従信子師

【一般のための黙想】（午後5時～午前9時）

5月 3日（火）～ 5月 5日（木）

新井延和神父

【青年のためのキリスト教霊性】（午後5時～午後4時）

対象：40歳以下の青年男女

5月 7日（土）～ 5月 8日（日）

松田浩一神父

11月5日（土）～11月6日（日）

松田浩一神父

奉獻生活者の黙想（午後5時～午前9時）

8月 3日（水）～ 8月11日（木）

松田浩一神父

8月18日（木）～ 8月26日（金）

九里彰神父

12月27日（火）～ 1月 4日（水）

新井延和神父

—その他皆さまが企画なさったグループ黙想会、個人黙想も歓迎いたします。—

☆お申し込みは、電話でも受け付けておりますが、できるだけFAX、はがき、Eメールでお名前と連絡先を御記入の上、お申し込み下さい。お電話は、なるべく午前9時～午後5時の間をお願いいたします。受け付けが休みの場合は、その場ですぐにお返事できませんので、お手数でも後日改めてお問い合わせ下さる様をお願いいたします。

〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山 39-12

宇治カルメル会 聖テレジア修道院（黙想）

Tel 0774-32-7016 , Fax 0774-32-7457

E-Mail: teresiauji@mountain.ocn.ne.jp



「カルメルの靈性に学ぶ」 ～十字架の聖ヨハネの靈性～

1) テキスト：『カルメル山登攀』（ドン・ボスコ社）
（いつからでも参加できます。）

2) 日時：毎月一回 14：00～15：30

土曜日に戻します！

1月22日（土）第2部19章

2月26日（土）第2部20～21章

3) 講師：^{くのり}九里 彰神父（カルメル会）

4) 場所：カルメル会宇治修道院 信徒会館集会室

《宇治カルメル靈性センター》

〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山 39-12

Tel：0774(32)7456 Fax：0774(32)7457

『社会人(働いている人)のための霊的同伴』

— 日常のキリスト教霊性を求めて —

日々、現代社会で忙しく働いている皆様に、この静かな一時を提供する企画です。この一泊の企画は、キリスト者の霊的・心的修養を目的として、霊的同伴(スピリチュアル・コーチング)を中心としながら、皆様のお手伝いをします。

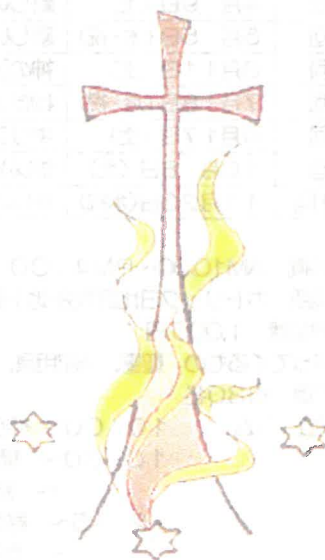
【内容】

- この企画は、個人的霊的修養でもありますので、一般的な講話はありません。
- 各人の信仰からの日常生活を見つめる視点(霊的理解)を促進しますので、この静かな一時の中で短い個別同伴(一人 30分)を行います。
- メソッドの一つとしてスピリチュアル・コーチングを適用して、参加者一人ひとりの視点を尊重します。
- キリスト者としてのパーソナルな統合はキリストのうちに行われるものですので、信仰・希望・愛を培い、この三つの対神徳をベースにおいて行います。

【参加者人数】 6人

【開催日】

- | | | |
|---|-------|------------------|
| ① | 2011年 | 1月21日(金)～22日(土) |
| ② | | 2月18日(金)～19日(土) |
| ③ | | 3月25日(金)～26日(土) |
| ④ | | 4月15日(金)～16日(土) |
| ⑤ | | 5月13日(金)～14日(土) |
| ⑥ | | 6月17日(金)～18日(土) |
| ⑦ | | 7月22日(金)～23日(土) |
| ⑧ | | 9月 9日(金)～10日(土) |
| ⑨ | | 10月28日(金)～29日(土) |
| ⑩ | | 11月11日(金)～12日(土) |
| ⑪ | | 12月16日(金)～17日(土) |
| ⑫ | 2012年 | 1月13日(金)～14日(土) |
| ⑬ | | 2月10日(金)～11日(土) |
| ⑭ | | 3月16日(金)～17日(土) |



(毎回金曜日 20時(夕食なし)～土曜日 15時)

【参加費】 各回 5,500円

【霊的同伴】 松田浩一神父(カルメル会士)

【申込み方法】 参加希望者は、前日の木曜日 16:45迄に、下記の聖テレジア修道院(黙想)へFAX、はがき、Eメールで申し込んでください。

〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山39-12
 カルメル会宇治聖テレジア修道院(黙想)
 Tel 0774-32-7016、Fax 0774-32-7457
 E-Mail:teresiauji@mountain.ocn.ne.jp

「立ちどまって、ひとりになって、聴いてみよう！」

～都会の中の一泊研修～(2011)

「私たちの間にある神の国を探して」—今の時代に芽生える神との新たな出会い—

「神の国は見える形では来ない、『ここにある』『あそこにある』と言えるものでもない。実に、神の国はあなたがたの間にあるのだ」(シカ17章21節)

“混乱の時代” “行き詰まりの時代” “崩壊の時代”・・・と言われる時代の中にも、「見よ、わたしは新しい天と新しい地を創造する。初めからのことを思い起こす者はない。それはだれの心にも上ることはない。」

(イザヤ65章17節)という神のみ言葉は力強く響き始めています。第2バチカン公会議終了後やがて半世紀を迎える現代世界と教会の中に、新しい神との出会いは生まれ始めています。

2011年はこの「神の国の芽生え」を私たちが日常生活の中に探す光を共に探しつつ歩みたいと思います。

| | | | |
|------|------------|-----------------------|------------------|
| 第1回 | 1月10日(月・祝) | 混沌の中に差し込む光(創世記1章) | 中川博道神父(上野毛修道院) |
| 第2回 | 2月26日(土) | 主が示される地に向かって(創世記12章) | 松田浩一神父(宇治修道院) |
| 第3回 | 3月12日(土) | 絶望の中の光(イザヤ43章、65章) | |
| 第4回 | 4月9日(土) | 新しい派遣(列王記19章) | |
| 第5回 | 5月5日(木・祝) | 新しい契約(エゼキエル36章) | 今泉健神父(上野毛修道院) |
| 第6回 | 6月11日(土) | 神の国の芽生え(マルコ4章) | |
| 第7回 | 7月18日(月・祝) | わたしの中に生きるキリスト(ガラテア2章) | |
| 第8回 | 9月17日(土) | キリストの新しい旋(ヨハネ13章) | Srノマリナ(宣教カルメル修院) |
| 第9回 | 10月8日(土) | 新しい生活(改革) | |
| 第10回 | 11月23日(水祝) | 新しい生き方の根 | |

* 時間 AM10:00～PM4:00

* 場所 カトリック日比野教会(地下鉄・名城線日比野下車徒歩約5分) * 聖テレジア幼稚園隣接

* 参加費 1,000円

* 持ってくるもの 聖書、筆記用具、ロザリオ、弁当

* 定員 約30名

* プログラム 10:00～ 祈り・導入・黙想

10:30～ 講話【1】

～ 黙想・(赦しの秘跡または面接)

12:15～ 昼食

～ 黙想・(赦しの秘跡または面接)

13:30～ 講話【2】

14:45～ ミサ

15:30～ 茶話会・分かち合い

16:00 終了予定

☞ 申し込みは、下記の住所へVJキカ FAX で、氏名・住所・TEL、(所属教会)を記載の上、開催日の3日前までに必着のこと。なお、日比野教会で葬式などがある場合は、中止となりますので、ご了承下さい。

☆ 名古屋カルメル霊性センター

〒456-0062 名古屋市熱田区大宝4-5-17 カルメル会日比野修道院 FAX 052-671-1825

一泊研修係 〒465-0058 名古屋市名東区真船3-2115 小林 厚・晃子

TEL・FAX 052-701-3685

跣足カルメル修道会HP (International)

世界的な跣足カルメル修道会のホームページ <http://www.carmelitaniscalzi.com> の記事を紹介します。



東アジアとオーストラリア地域地区会議

<< 時事通信 >>

シンガポール (2010/10/30) — 10月25日から29日にかけて、総長ザベリオ・カンニストラ総長とピーター・チュング総長顧問の同席のもと、シンガポールで行なわれていた、東アジアとオーストラリア地区（オーストラリア、インドネシア、日本、フィリピン、韓国、台湾・シンガポール）の長上会議は、昨日終了した。この会議は、本会の管区、総長代理区の訪問のために、総長顧問会によって始められた新しい方法論をもとに行なわれたものである。

～中略

会議は、ピーター・チュング総長顧問による、本会のこの地域におけるテレジア的カルメルに関する報告によって始まった。その報告の中で、総長顧問は、各地域の状況を分析し、本会が直面している種々の困難を鮮明にした。

その後、各々の上級長上は、それぞれが住んでいる国でカルメル会が立ち向かっている問題や緊急の課題について簡単な報告をした。

オーストラリア、日本、韓国、シンガポール・台湾は、個人主義、物質主義、世俗主義、消費主義といった、経済的に豊かな国として同じような問題を共有している。一方、フィリピンは、このような傾向はまだ顕著でないにせよ、このような生活に魅力を感じている。



聖書深読センターのご案内

- 1 東京・・・上野毛聖テレジア修道院（黙想）の案内をご覧ください。
- 2 宇治・・・宇治聖テレジア修道院（黙想）の案内をご覧ください。

通信深読について

通信深読は、現在何箇所かで行われているようです。そのうち2箇所が新たに参加可能なので、紹介します。

1 朝日カルチャーセンターの通信講座

参加者は、「個人素読」（記号、全、所感、近況報告などを書くB5用紙）を提出。講師のコメントが記入されて返送される。参加者全員の「個人素読」と「素読表」そして解説が冊子になって送られる。

費用：6ヶ月 18,900円（4、7、10、1月に納入） 継続の場合は 16,900円

講師：九里彰師（奇数月） 新井延和師（偶数月）

問い合わせ：〒163-0278 東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル

私書箱 21号 朝日カルチャーセンター通信講座部

電話 03-3344-2527（直通）

2 ミニ深読

グループで2、3時間かけて聖書深読法の一部を行います。

聖書深読黙想会に参加経験のある方に限ります。

遠方に、参加希望者が多数いる場合には、有光、またはSrパウリーナが指導に行くことも可能です。

問い合わせは「聖書深読センター」事務局 Srパウリーナまでご連絡下さい。

- ◎ 聖書深読に関してご質問のある方は、下記聖書深読センターにお問い合わせ下さい。



聖書深読センター

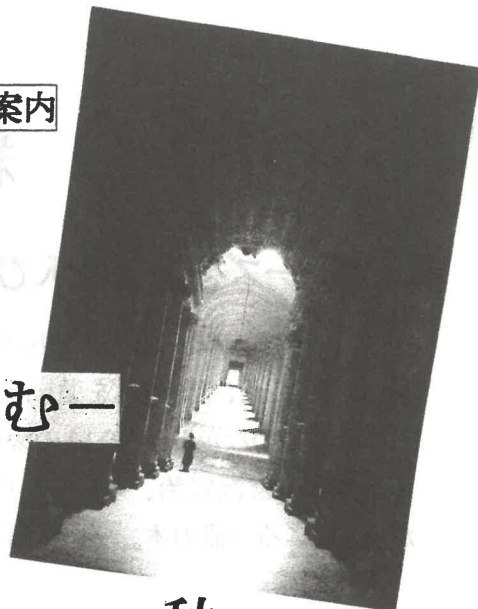
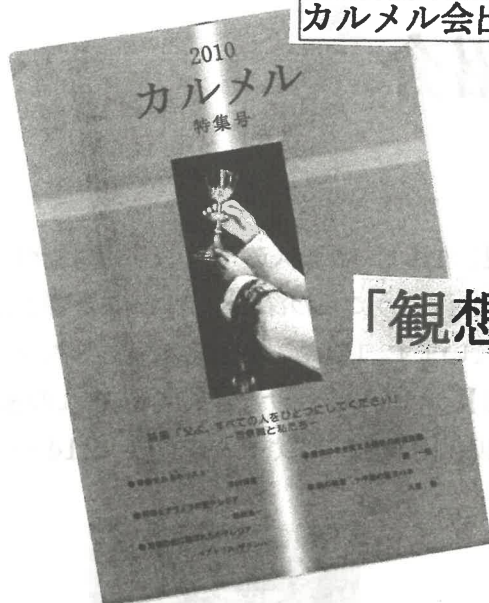
〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山 39-12 カルメル会聖テレジア修道院（黙想）

所長：奥村一郎神父 事務局長：新井延和神父 連絡先：Srパウリーナ

TEL 0774-32-7016 FAX 0774-38-2543

Eメール carmis@mbox.kyoto-inet.or.jp

カルメル会出版物のご案内



「観想」を読む

2010 秋 No.338

● 目次 ●

| | | |
|--------------------------|------------|----|
| 馬屋の靈性 (7) | 高橋重幸 | 2 |
| 「恵み溢れる聖マリア」 | | |
| カルメルの靈性の源流を探して (1) | 中川博道 | 8 |
| ——その「会則」に見る生活 | | |
| 三位一体のマリアの歌 (1) | ペトロ・アロイジオ | 15 |
| 私は愛に渴いている | | |
| 「どこにお隠れになったのですか」 (5) | 九里 彰 | 21 |
| ——十字架の聖ヨハネに見る靈的旅路 | | |
| 聖性への招き 十字架の聖ヨハネに導かれて (4) | マリー・エウジエンヌ | 27 |
| | 編・訳 伊徒信子 | |
| エディット・シュタインの改宗までの道程 | | |
| ベアトリス・デクンハ | | |
| 「小さい道」の巡礼者 (10) | 中山真里 | 44 |
| テレーズの修練者——三位一体のマリー | | |
| 僕たちを忘れないで | 森 みさ | 51 |
| 愛の断章 (17) | 奥村一郎 | 57 |

購読のご案内

雑誌「カルメル」はどなたでもご購入できます。(カトリック書店：サンパウロ、ドンボスコ書店等) できます。定価は、一冊 460 円です。

- 送付希望の方は、600 円【内訳 460 円 (+送料 140 円)】を下記へお振込み下さい。
- また、まとめて御購入希望の方は、年会費 (年 5 冊：春夏秋冬号・特集号【460×5=2300 円】、送料分【700 円】) として、3000 円を下記へお振込み下さい。

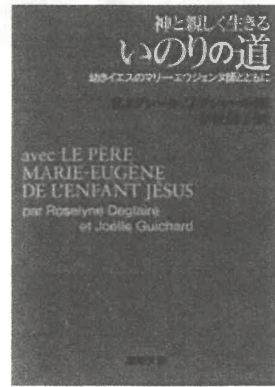
郵便振替：00190-4-195457 跣足カルメル修道会
(お問い合わせは、事務担当竹田まで。)

TEL (03) 5706-8356

新刊紹介

●「テレーズを愛した人びと」

リジューの聖テレーズはカトリック教会で最も親しまれている聖人の一人。この書はテレーズが愛した人びとと、テレーズを愛した人びと11人が、どのように心の深みでテレーズと響き合っていたかを見つめながら、その11の愛の道を洞察しています。(聖母、十字架の聖ヨハネ、パウロ、三木露風、宮沢賢治、マリー・エウジェンヌ【ocd】、マザー・テレサなど)、それぞれの独自の愛が心にのこる一冊の本。伊従信子 著 ¥1400 円＋税 女子パウロ会 214 ページ



●「神と親しく生きる 祈りの道」

幼きイエスのマリー・エウジェンヌ師とともに
本書で師はわたしたちみんなが呼ばれている聖性の道を示し、神との一致への道へわたしたちを導いてくれます。神を探し求める時、闇につつまれた道程を歩まねばなりません。祈りの道を歩み続けるために光を求める人々の具体的呼びかけにマリー・エウジェンヌ師は自分の体験の実りを本書で分かち合ってくれます。

神との関わりを探し求めている人たちへ

送るメッセージ

現代の狂騒の中で、大切な何かを見失って
いないだろうか・・・ 真理、善、美、生きる意味。

R.ドグレール/J.ギシャール＝著

伊従信子＝訳 ¥525 聖母文庫 207 ページ

諸所の企画案内

諸所の企画案内

※掲載要約・お問い合わせ先・お問い合わせ先・お問い合わせ先



心のいほり

真命山靈性交流センター

リーゼンフーバー神父キリスト教講座

ノートルダム・ド・ヴィ

ノートルダム教育修道女会

※ お知らせ

2009年・10号より、諸所の企画記事を
編集係りで集約して打ち込みました。

記載には注意を期していますが、詳細は、
念のため、各問い合わせ先にご照会ください。

また、「投稿募集」ページも、隔月程度の
掲載となります。どうぞご了承ください。

よろしくお願い致します。

編集係り

諸所の黙想企画ご案内

※各黙想内容・日程等、詳細については各問い合わせ先に、ご確認ください。

内観黙想の予定表

先の予定表と若干変わっていますので、開始の曜日や時間などにご注意ください。

◎参加費用は、6泊7日ですべてを含み関西地区の会場は6万円、他地区は6万5千円です。

◎Eメール・ファックス・手紙でセンターにお問い合わせください。電話では取り次いでおりません。

申し込みは10日前迄に完了、お願いします。会場予約準備がありますので。

◎572-0001 大阪府寝屋川市成田東町3-27「心のいほり 内観瞑想センター」藤原神父
FAX 072・802・5026 Eメール fujinao1944@nifty.com
<http://www.com-unity.co.jp/naikan> (ホームページ・アドレス)

◎予約の決まった後に、会場までの詳しい地図などの書類をお送ります。

(★)印の会場では、藤原神父以外の司祭も面接同行する可能性があります。

2011年(6泊7日) 午後2時より 終了日午後2時迄

M1 01/16(日)-01/22(土) 兵庫・売布・女子ご受難会

K1 01/25(火)-01/31(月) 東京・小金井・聖霊会

Y1 02/14(月)-02/20(日) 神戸・須磨・ヨハネ

K2 03/04(金)-03/10(木) 東京・小金井・聖霊会

M2 04/03(日)-04/09(土) 兵庫・売布・女子ご受難会

★N1 04/30(土)-05/06(金) 滋賀・唐崎・ノートルダム

O1 05/19-05/23 沖縄・伊江島、沖縄県人向け内観(4泊5日)

K3 05/31(金)-06/06(木) 東京・小金井・聖霊会

★N2 06/24(金)-06/30(木) 滋賀・唐崎・ノートルダム

真命山の霊性



自然

神はすべてを作り
人の手に委ねられた

陽の昇るところから
陽の沈むところまで

祈り

静けさ

沈黙の中に神の
言葉を聞こう

信仰体験を
分かち

交わり

指導者
フランコ・ソットコルノラ神父
(真命山院長)
ダニエレ サルティ・サルトリ
神父
Sr.マリア デ・ジョウルジ



通年のテーマ：

典礼暦年間で教会とともに祈る

祈りの集い、(毎回午前10時～午後2時半)

01月 13日 典礼暦年間の一年の周期

02月 10日 聖人の記念日 - 1

03月 10日 四旬節

04月 14日 逾越の三日間

05月 12日 復活節

06月 09日 聖霊降臨の祭日

07月 14日 聖人の記念日 - 2

09月 08日 聖人の記念日 - 3

10月 13日 日曜日：主の日

11月 10日 待降節 - 1

12月 08日 待降節 - 2

申し込み先

865-0133

熊本県玉名郡和水町1391-7

真命山諸宗教対話・霊性交流
センター

TEL 0968-85-3100

Fax 0968-85-3186

E-mail: shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

個人またはグループでの黙想会や研修会も
歓迎いたします。

(要予約)

リーゼンフーバー講座・集いの案内 2011年

●キリスト教入門講座

金曜日 18時45分～20時30分

聖イグナチオ教会信徒会館3階アルペホール。
どなたでも。聖書に基づきキリスト教の基本テーマを取り扱います。

●キリスト教理解講座

毎月第1・第3・第5火曜日 18時45分～20時30分
聖イグナチオ教会信徒会館3階。キリスト教の基礎知識を持っている方。2年間のコース。信仰理解と信仰生活の深まりを目的とし、キリスト教の中心的テーマを探求します。

●土曜アカデミー 以下の土曜日、

9時30分～12時30分、岐部ホール4階404、
19・20世紀近代・現代のキリスト教関係の
思想・哲学・神学を考察します。思想史とキリスト教の関係に関心を持っている方、プログラム等に関してHP(文末)を見よ。

1月8日、15日、22日、29日

●坐禅会

月曜日 17時20分～20時10分

木曜日 18時～20時30分

上智大学内 Kulturlauf 1階左の
部屋。但し、10月18日、同21日、12月27日～1月
3日、祝日休み。3回座り、間に講話があります。ど
なたでも。初心者も歓迎。遅刻、不定期の参加も
可。

●坐禅接心

(上石神井)

2月5日(土)8時30分～6日(日)15時30分
5,900円

●ミサ 水曜日 17時10分～18時

上智大学内 Kulturlauf 1階
右小聖堂どなたでも。(但し、8月全休、
10月20日、12月29日、祝日休)

●祈りの集い 下記の土曜日

13時30分～16時

上智大学内SJハウス第5会議室
黙想、講話、ミサがあります。

1月15日

ロザリオの祈り 同日16時10分～50分

Kulturlauf 1階右小聖堂

●黙想

【会社婦りの黙想】

毎月第2・第4火曜日 18時45分～20時

聖イグナチオ教会マリア聖堂、どなたでも。

(但し、祝日、8月10日は休。

8月24日は Kulturlauf 1階聖堂)

【お昼の黙想】 毎月第1・3火曜日

10時40分～12時 聖イグナチオ教会

マリア聖堂 但し祝日、2011年1月4日は休み。

【水曜日】 18時～18時30分

上智大学内 Kulturlauf 1階右小聖堂。

どなたでも。但し、祝日休。

●黙想会

3月12日(土)10時～13日(日)15時

上石神井。一泊5900円程度。

●アガペ会

下記の日、説明会(13時30分)と
集い、ミサ(14時～18時)、上智大学
内SJハウス第5会議室

1月22日(土)

●クリスマス会・ミサ



上述日程等、変更の可能性が
あります。
詳細等は、
下記、リーゼン
フーバー神父様
のホームページ
でご確認
ください。

リーゼンフーバー神父キリスト教入門・理解講座

リーゼンフーバー神父キリスト教

入門講座 2011年

日時 毎週金曜日

18時45分～20時30分

- 01/07: 霊の動き－福音による生き方
01/14: 秘跡の恵み－毎日を養う信仰
01/21: 教会の構造・典礼・歴史－教会と共に歩む
01/28: 信徒・司祭・修道者－誰もが召されている
02/04: 神の言葉－神との日常的な対話と黙想の仕方
02/18: 結婚と独身－愛の道
02/25: 仕事という人間の課題－社会と教会に寄与して働く
03/04: 人間の苦悩－悪とは何のためか
03/11: 死－その実現と克服
03/18: 人生の完成－神の内に生きる
03/25: 聖母マリア－イエスと共に生きた方



リーゼンフーバー神父キリスト教

理解講座 2011年

日時 第1・3・5火曜日

18時45分～20時30分

聖霊

01/18: 三位一体の神－救いの構造から神内の存在へ

教会

- 02/01: 信仰者の共同体－教会の本質
02/15: 救いのしるしと実現－秘跡の意味
03/01: 憐れみと愛の祝い－罪のゆるしとミサ
03/15: 人間と世界の究極の未来－終末の約束
03/29: 信仰者の原型－聖書と教会の教えに見られるイエスの母

《場所・お問い合わせ》

聖イグナチオ教会(四ツ谷駅前)

信徒会館3階

アルペホール TEL 03・3263・4584

クラウス・リーゼンフーバー神父

102-8571 千代田区紀尾井町7-1

上智大学SJハウス

電話 03-3238-5124{直通}

-5111{伝言}

Fax 03-3238-5056

上述日程等、変更の可能性があります。

詳細等は、下記、リーゼンフーバー神父様のホームページでご確認ください。

※リーゼンフーバー神父様HPアドレス

http://www.jesuits.or.jp/~j_riesenhube/

いのちの泉へ（ノートルダム・ド・ヴィ）

●「いのちの泉へ」 すべての人のための祈りの集い

カルメルの靈性に学びつつ、キリスト者としての靈性を養うための講話と、沈黙の祈りで構成された集いです。

1月22日(土)
2月12日(土)

講話 伊従信子
(1月2月は片山はるひの講話はありません。)

午後2時～午後5時30分位まで、
講話、祈り、分かち合い。
参加費 200円

申し込み・お問い合わせ
ノートルダム・ド・ヴィ
177-0044
練馬区上石神井4-32-35
TEL(03)・3594・2247
Fax(03)・3594・2254
E-mail notredamedevie.japan@gmail.com
ホームページ(NEW)
<http://www.ndv-jp.org/>

カルメル会の靈性を受け継ぐノートルダム・ド・ヴィ(いのちの聖母会)は、現代社会のあらゆる場で社会人として働きながら、神への全き奉獻を通して、祈りと活動の一致を生きることを、その精神・理想としています。



ノートルダム教育修道女会・唐崎修道院

◎ 所在地: 〒520-0106 滋賀県 大津市 唐崎 1丁目 3-1

Tel: 077-579-7580

Fax: 077-579-3804

Eメール: karainorind92@mbe.nifty.com

◎ 交通: JR京都駅から湖西線で三つ目「唐崎」下車。
琵琶湖の方へ徒歩 約13分

◎ 日程:

A. 8日間の個人指導による黙想

初日は、17時のミサで始まり、最終日は昼食で終わります。

- ① 了
- ② 4月29日(金) ~ 5月7日(土)
- ③ 6月23日(木) ~ 7月1日(金)
- ④ 8月14日(日) ~ 8月22日(月)
- ⑤ 9月23日(金) ~ 10月1日(土)
- ⑥ 10月19日(水) ~ 10月27日(木)
- ⑦ 11月14日(月) ~ 11月22日(火)
- ⑧ 11年12月27日(火) ~ 12年1月4日(水) 予定

B. 祈りの体験: 週末3日間 (金曜日の夕食~日曜日の昼食)

【神との親しさの中で日常を生きるために】

- ① 2月11日(金) ~ 2月13日(日)
- ② 3月11日(金) ~ 3月13日(日)
- ③ 4月8日(金) ~ 4月10日(日)
- ④ 5月20日(金) ~ 5月22日(日)
- ⑤ 7月22日(金) ~ 7月24日(日)
- ⑥ 9月2日(金) ~ 9月4日(日)
- ⑦ 12月2日(金) ~ 12月4日(日)

C. 講話 黙想(奉獻生活者のため)

5月27日(金)~6月4日(土) 裏辻 洋二 師 (イエズス会)

◎ 対象: 信徒、修道者、司祭、洗礼を受けていない方、どなたでも参加できます。

◎ 霊的同伴者: 菊池 陽子(ノートルダム教育修道女会) 松本 佳子(ノートルダム教育修道女会)
その他 若干名

◎ 申込み: 1) 名前 2) 住所 3) 電話番号 4) 希望日程(番号) を書いて
郵送、または、Faxで「黙想係」松本佳子 へ申し込んでください。
唐崎修道院への案内地図の必要な方は、その旨を書き添えて下さい。

いずれの場合も、10日前までに申し込んでください。先着順11名です。

◎ その他: 司祭同伴の黙想会やグループ研修会のために修道院をご利用なされたい
方はご相談ください。(但し、上記の日程と7月30日~8月12日を除きます。)

※各黙想内容・日程等、詳細については各問い合せ先に、ご確認ください。

神の恵みを生きる

イエスの霊に強められる者

決断できない、勇気がない。それはまだつよめられていないから。
イエスの霊に強められたとき、人は強くなる

2011年度 召命黙想会

日時 **1月22日(土) 15:00~**
23日(日) 15:30まで

場所 : ノートルダム唐崎修道院
(JR京都駅から30分)

指導 : 山内 十束 神父 (御受難会)

対象 : 独身女性信徒

費用 : 2,000円

締切 : 1月15日(土)までに

<申込み・問合せ>

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎 1-3-1

ノートルダム教育修道女会

Sr. 桂川

Tel 077-579-2884 Fax 077-579-3804

Email karainorind92@mbe.nifty.com

投 稿 募 集

霊性センターでは皆様の投稿を募集しております。

》投稿規程《



- * 締切り：原則的に毎月10日まで
- * 原稿サイズ：B5 左右の余白20mm
- * 原稿はできる限り、パソコン/E-mailでの投稿をお願い致します。
- * E-mailでの投稿は、添付ファイルで、**tokyo@carmel-monastery.jp**宛にお願い致します。
- * 「心の泉」のコーナーへの投稿は小題をつけて下さい。
- * 「諸所の企画」のコーナーへの投稿は、下記を明記して下さい。
 - ①主催するグループ名もしくは個人名
 - ②活動内容。例えば、「黙想会」、「祈りの集い」等
 - ③月間、あるいは年間の具体的計画
 - ④連絡先等

* 投稿される際は、^{くのり}九里 彰神父 まで、ご連絡をお願い致します。
〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山39-12 カルメル会修道院
Tel (0774) 32-7456 Fax (0774) 32-7457



「カルメル霊性センター」のホームページ

アドレス：<http://www4.ocn.ne.jp/~carmel>

インターネットの検索で「カルメル霊性センター」を検索して下さい。

『靈性センターニュース』郵送ご希望の方

下記まで、郵送ご希望の月数分×220円を現金で送ってください。切手では受け付けておりません。これは、あくまでも郵送代実費です。

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛 2-14-25
カルメル会上野毛修道院 「靈性センター事務局」

「上野毛靈性センターへの献金」のお願い

「靈性センターニュース」は、現在、上野毛靈性センターで編集、印刷、製本、発送等を行っておりますが、経費はすべてカルメル会で負担しております。読者の皆様のご理解とご協力をいただければ、幸いです。

献金される方は、下記の口座へお振り込みください。

郵便番号口座： 00110-4-297250

加入者名： カルメル靈性センターニュース

なお通信欄へは「献金」とご記入ください。これは、上記の郵送代ではなく、献金として取り扱わせていただきます。



編集後記

新年明けましておめでとうございます。

今年一年が、主の恵み豊かなお年となりますように、「靈性センターニュース」スタッフ一同、心からお祈りいたしております。

このささやかな冊子が皆さまの毎日の信仰生活、靈的生活に、少しでも役立つものとなりますように。これからもよろしくお願い致します。

さて、今月号から、「カルメル靈性センター」では、新たに印刷機を導入いたしました。今までは、上野毛教会の印刷機を借り、上野毛修道院のコピー機を使用し、紙代、印刷代、コピー代を払っておりましたが、これらの必要がなくなりました。

とはいえ、印刷されたものを綴じ、発送する作業には、今まで同様、手がかかりますので、お時間のある方は、是非ご協力ください。

(P. 九里)

今年もカルメル霊性センターニュースのためにご援助
ご協力をありがとうございました。皆様の励ましに応え、
誌面の充実に、よりいっそうの努力をしていきたいと思っ
ております。これからも 皆様の温かいご支援をお願い
申し上げます。新しい年が主の豊かな恵みで満たされま
すよう、お祈り致します。

祈りと感謝！

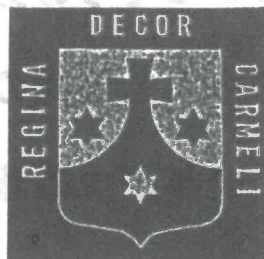


P. 九里 彰 o.c.d.

**Merry Christmas
& a Happy New Year !**



カルメル霊性センター事務局



「あなたにもできる」

「霊性センターニュース」の製本が、毎月第四火曜日（原則）に行われていますが、製本作業には、どなたでも参加していただくことが出来ます。初めての方、不定期参加の方も、大歓迎です。一緒にご奉仕をお捧げしましょう！！

「2月号」製本日 1月24日（火） 上野毛教会信徒会館ホール1階
午後1時半頃から～

※参加希望の方は、念のため、製本日をご確認下さい。霊性センター係

TEL 03・3704・2171